

2022年7月1日

関係者各位

日本学生トライアスロン連合
2022年度審判委員長 渡邊純一郎
2022年度大会運営委員長 沢部領花
2022年度学生委員長 栗原豊季

東日本学生トライアスロン選手権那須塩原大会 ペナルティに関して

去る6月26日、東日本学生トライアスロン選手権那須塩原大会 兼 関東・東北・北海道学生トライアスロン選手権那須塩原大会が開催されました。那須塩原市様をはじめ、大会を開催するにあたりご尽力頂きました関係者の皆様に、改めて感謝申し上げます。

出場選手、チーム関係者の皆様もお疲れ様でございました。

リザルトにおいて、複数の選手がペナルティ未消化であるにも関わらず、失格となっていない件につきまして、ご説明いたします。

事前の競技説明会動画においては、JTU 規則に基づいて「ペナルティ未消化の選手は失格とする」とお伝え致しました。

大会当日、気温・天候の観点からレース距離を短縮したことに伴い、ペナルティの時間も変更となりました。その際、ペナルティはペナルティボックスに入る以外にタイムチャージで消化することもできる旨、アナウンスがあったと出場選手から報告がございました。(尚、この選手はペナルティを受けていない選手です。)

大会本部からは、「ペナルティボックスで消化するのは、ドラフティング・ブロッキングの30秒および、その他の違反の10秒。タイムチャージで消化するのは、入金漏れ・受付遅れの40秒」とアナウンスをお願い致しました。

上記のアナウンスはスタート付近で行われましたが、音響の都合により、大会本部では内容の確認ができず、報告の真偽はわかりかねます。

このことに加え、ペナルティ未消化で通過した選手があまりに多いことから、距離変更に伴って混乱が生じ、選手の皆様に正確な情報が行き届いていなかったと判断致しました。

そのため、今回は特例措置として、失格とはせず、タイムチャージにてペナルティを反映することに致しました。

距離変更に伴い、混乱を生じさせてしまったこと、および本部と各所での連携に不備があったこと、大変申し訳ございませんでした。

本来、競技説明会動画のとおり、ペナルティの未消化は失格となりますので、学生大会に限らず今後出場されるレースでは十分ご注意ください。

また、ドラフティングに関しまして、悪質と判断された場合はJTU規則によって失格となります。こちらも今後出場されるレースでは十分ご注意ください。

以上